

授業科目	カウンセリング演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31415J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>【実務家教員による】</p> <p>カウンセリングの理論と方法には、心理職のみならず、対人援助職がその職務を適切に全うするため専門家として身に付けておくべき視点や技法が含まれている。</p> <p>本演習担当者は、学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員である。カウンセリング・心理療法には様々な学派がある。本演習では、各学派の人間観とアセスメントや面接の技術、カウンセリングプロセス、カウンセリングの実践事例について臨床における有用性の視点から解説し、ディスカッションを行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングにおける態度、考え方について説明することができる。(DP5-2) 2. 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。(DP2-1、2-2) 3. 事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスについて説明することができる。(DP5-2) 4. 福祉領域における創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。(DP4-3) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	65	35	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15				15	
思考・判断 (DP2-2)			15				15	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)				35			35	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)		0	35				35	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスを理解し、日常の対人場面においてもその技法を応用することができる。 他者の置かれた心理的状況への理解を広げ、より良い心理的支援を追求することができる。 事例に対する倫理的な配慮を心得て、対人援助職に就くことを念頭に入れたカウンセリング場面における自己の課題を自覚し、自己研鑽に努めることができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングにおける態度、考え方について説明することができる。 2. 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。 3. 事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスについて説明することができる。 4. 福祉領域における創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・カウンセリングと心理療法 カウンセリングと心理療法について解説する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
2	テーマ:カウンセリングの基本と逐語録の作成 カウンセリングの基本構造を確認し、逐語録の作成方法について検討する。	講義 グループワーク	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
3	テーマ:精神分析的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
4	テーマ:分析心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
5	テーマ:認知行動的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
6	テーマ:催眠療法に基づく立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
7	テーマ:ヒューマニスティック心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
8	テーマ:トランスパーソナル心理学の立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
9	テーマ:問題解決志向的な立場のカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
10	テーマ:日本で生まれたカウンセリング 基本的特徴、面接の方法、カウンセリングプロセスについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
11	テーマ:学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例1 無気力なクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
12	テーマ:学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例2 イライラを止められないクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
13	テーマ:学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例3 実感がもてないクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30
14	テーマ:学派の枠組みを超えたカウンセリングの事例4 性格に悩んでいるクライアントのカウンセリングの事例を通してカウンセラーの態度とそのかわりについて検討する。	講義 ディスカッション	予習:テキストを要約する。 復習:小レポートを作成する。	30

15	テーマ:まとめ これまでの授業内容を振り返る。	講義 グループワーク	予習:授業内容を振り返る。 復習:レポートを作成する。	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本演習は、「臨床心理学概論」で学ぶ臨床心理学の基礎知識と、「カウンセリング論」で学ぶカウンセリングの基礎知識を必要とします。 上記科目の単位を習得していない学生は、予備知識が不足しているため履修することはできません。先に、上記科目の単位を取得してください。			
テキスト	『カウンセリングプロセスハンドブック』福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房(2004)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『日本の心理臨床3 からだとこころ 身体性の臨床心理』成瀬悟策著 誠信書房(2009) 『日本の心理臨床6 カウンセリングと教育 学校現場で活かせる統合的アプローチ』倉光修著 誠信書房(2011) 『看護・介護・保育の心理学 第2巻 心理臨床的支援の方法 カウンセリングのすすめ』菅佐和子編 岡堂哲雄監修 新曜社(2010) その他、適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	「心理臨床学研究」を読んでみましょう。最新の事例研究が掲載されています。 各心理療法の専門書を読むと、様々な諸立場のカウンセリングの考え方や技法を学ぶことができます。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	グループワークやディスカッションでの「発表」を35%、小レポートやレポートの「レポート」を65%の割合で評価する。 レポートの内容については、授業内で指示する。 成績発表後に、評価点分布図を提示する。			

